

加盟団体紹介 「神奈川県テニス協会」

会長 山田 悠一

【沿革】

神奈川県テニス協会は昭和27年に創立され、設立当時は横浜・湘南地区を中心としたわずか8クラブと1事業所、学校関係6校の計15団体でスタートしました。

昭和30年には第10回神奈川国体が開催され、テニス競技は鎌倉市に皇太子殿下をお迎えし、盛大に挙行されました。

また、平成14年には創立50周年を迎え、協会の歴史や活動状況等をまとめた記念誌を発行し、併せて記念式典を開催しました。

現在は、県下22の各市町協会をはじめ、高体連、中学校テニス連盟、及び女子連神奈川支部の25団体で構成しています。



【組織運営】

協会の活動を企画・運営するため、会長推薦理事及び、各加盟団体からの推薦理事で構成される理事会を毎年2回程度開催し、各種行事、予算執行等を行っています。

また、各加盟団体の代表者で組織する評議員会も毎年、1回開催しておりますが、現在は、コロナ禍の影響で参集しての会議開催が困難なため、書面開催で実施しています。

また、各事業を執行するために「総務」、「指導普及」、「行事」、「ベテラン」、「審判」、「実業団」、「ジュニア」、「強化」の8委員会を設置し、各委員会の主体的な運営で実務を進めていますが、これらの会議も現状ではWeb会議等での開催で対応しています。

【主な活動】

★大会関係

当協会では多くの大会を実施しており、神奈川選手権大会をはじめ、各種ジュニア、ベテラン実業団、クラブ対抗等、各種目・世代等に応じた様々な大会を実施しています。

当協会のハイレベルの大会としては企業の特別協賛を得て、賞金付の大会として「神奈川インドアオープン大会」を開催しプロ選手をはじめ広く多方面からの優秀な選手の参加による大会を実施しています。また、ジュニアの大会では、川崎ジュニアトーナメントが今年で第63回を重ねる歴史ある大会で参加者もシングルス、ダブルスを含め約1,500名

と多くの参加者と共にレベルの高さも定評があります。更に選手層の高齢化に伴いベテラン大会も充実させています。

また、国体、全日本都市対抗テニス大会等についても、全国優勝を目指し、強化を図ると共に次世代を担うジュニアの強化にも力を入れております。



★講習会関係

【指導員検定・講習会】

テニスの普及とレベルアップのため、神奈川県テニス協会独自の県公認指導員を確保するため年2回の講習会と指導員検定会を実施し優秀な指導員の輩出、育成に努めています。

【審判認定会・講習会】

大会運営に不可欠な審判員を確保するため毎年2回審判員講習会及び認定会を開催し、優秀な審判員の輩出、育成を行っています。

特に来年の令和4年にはシニアの国体と言われている「ねんりんピックかながわ2022」が当県横浜市で開催されるため、円滑な大会運営を目指し審判員の育成・講習会にも力を入れております。

加盟団体紹介「神奈川県剣道連盟」

会長 小林 英雄

1. 沿革

昭和 20 年に日本が敗戦して、GHQ の指令により、剣道の組織的活動が禁止された。しかし、昭和 27 年 4 月 28 日にサンフランシスコ講和条約発効により占領が解かれると、剣道も本格的に復活した。同年 10 月に全日本剣道連盟が結成。

本県は、昭和 27 年 8 月 23 日、横浜市役所会議室において創立総会を開催し、会長・佐藤三千三郎、副会長・斎藤勝次、他役員を選出して「神奈川県剣道連盟」を創立。(昭和 28 年 1 月 11 日、全日本剣道連盟に加盟)

昭和 27 年 10 月 19 日、反町の神奈川県体育館において連盟主催の第一回の剣道大会を開催した。昭和 30 年 10 月に第 10 回国民体育大会が秩父宮記念体育館(藤沢市)で行われ、戦後初めて剣道競技が正式種目として加えられた。

戦後、剣道競技が盛んになり剣道人口も増加していき、日本国内のみならず海外でも剣道競技への関心が高まり、昭和 45 年に第 1 回の剣道世界選手権大会が開催された。以後、3 年に一度開催される同大会に本県からも日本代表選手を度々送り出している。

平成 15 年にイギリスのグラスゴーで開かれた第 12 回世界剣道選手権大会では、男子チーム日本代表監督に本県の小林英雄(現会長)が就任、コーチに本県の宮崎正裕(現副会長)。決勝戦で強敵の韓国チームと対戦、苦闘の末、勝利し優勝(世界一)した。

毎年行われる全日本剣道選手権大会や全日本女子剣道選手権大会で優勝者や上位入賞者を多数輩出。また全国レベルの中学校や高校の剣道大会では優勝や上位成績を出すなど、本県は我が国における剣道界で有力な位置にいる。

剣道最高段位である八段受有者は 50 名(東京・大阪に次いで 3 番目)。



第 76 回国民体育大会関東ブロック大会
(R3. 6. 20 宇都宮市 ユウケイ武道館)

2. 組織

本県剣連は、現在、本部役員 40 名、38 支部(含む警察支部・居合道支部・杖道支部)を数え、県下剣道人口は約 16,600 人である。関係団体に、中学校体育連盟・高等学校体育連盟および大学を含めた学校剣道連盟、実業団剣道連盟、高齢者剣友会および剣道道場連盟などがある。

3. 事業

毎月実施の一般合同稽古会(県外からも参加可)や主婦などが参加する午前中に開催の女子合同稽古会。母と子で参加して親子の絆を深める母子大会。女性剣士が年代別で競う県女子剣道大会。シニア層の参加するシニアスポーツフェスタ剣道大会。支部別・年齢層別(小中高大学や一般まで)で団体チームを組み競う神奈川県剣道大会。少年の参加する剣道錬成大会。支部別で 12 人制団体戦としてポイントで優勝を争う青少年剣道選手権大会、等々の各種にわたる大会を実施。

他に、段位審査会(初段～五段)。審判法講習会、日本剣道形講習会、等の各種講習会を実施。剣道知識を深める剣道研究会。

平成 24 年に第 1 回全日本選抜剣道七段選手権大会を主催。以来、毎年実施(新型コロナで昨年度は中止)。全国から精鋭の七段剣士を招いて行うハイレベルの試合は、憧れの剣士を一目見たいという子供や剣道愛好家まで毎回大きな反響を呼んでいる。



八段受審者研修会 (R2. 10. 11 県立武道館)